

## 目 次

序 文	2
I はじめに	4
II 弱視教育の概要	6
1. 弱視教育の対象	6
2. 教育の場の多様化	7
3. 弱視学級設置の経緯	8
(1) 戦前の弱視教育	8
(2) 盲学校における弱視教育	8
(3) 小・中学校内弱視学級の発展	9
4. 弱視学級の編成と方式	10
(1) 協力学級方式	10
(2) リソースルーム方式	11
(3) 通級指導方式	11
(4) 巡回指導方式	11
(5) 固定学級方式	11
III 小・中学校弱視学級における弱視教育の現状	12
1. 弱視学級の現状	12
(1) 弱視学級設置状況	12
(2) 児童・生徒の在籍状況	16
2. 視覚障害の状況	18
3. 弱視学級担任の状況	20
4. 教材・教具の使用状況	23
(1) 視覚補償の手だて	23
(2) 教科学習と補助具の使用効果	24
5. 弱視学級における指導の現状	26
(1) 「読み」・「書き」能力の問題	26
(2) 各教科における学習の困難性	28
(3) 指導形態の多様化	33
(4) 障害の多様化傾向	35
IV 今後の課題	37
V おわりに	39
VI 資 料	
1. 弱視学級実態調査表	41
2. 昭和60年度弱視学級設置校一覧	46